

V 事業効果

被害防止・軽減効果

治水事業の効果（川内川水系羽月川）

防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策等により浸水被害を回避しました。

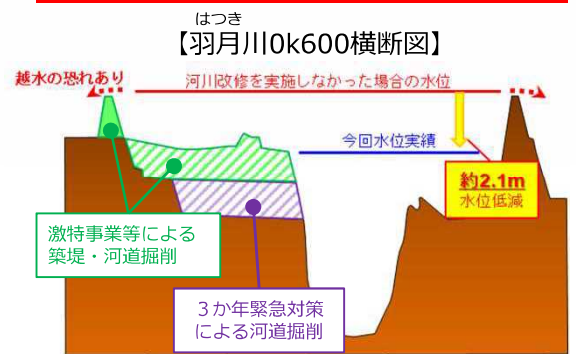
▼ 効果の概要

- せんだい はつき やまの
 - 川内川水系羽月川では、令和2年7月豪雨により、山野観測所において観測史上最大の12時間雨量を観測したが、3か年緊急対策による河道掘削等を実施していたことで、
 - ①約2.1mの水位低減により越水を回避、②危険な水位以上の継続時間を約4時間短縮
 - ③約101億円の被害軽減効果があったと想定されます。

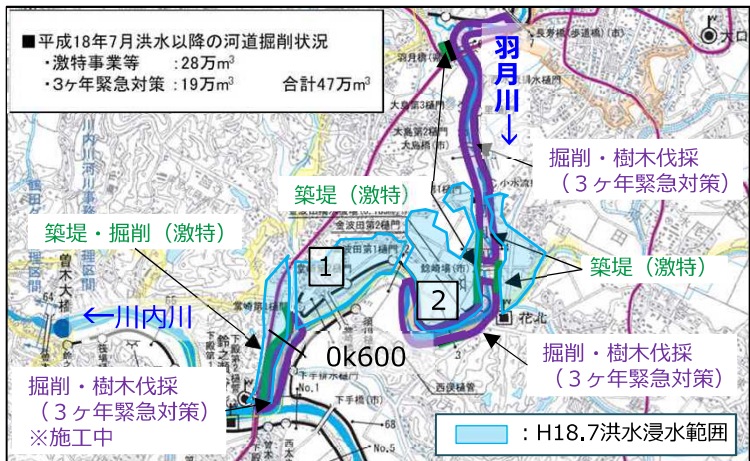
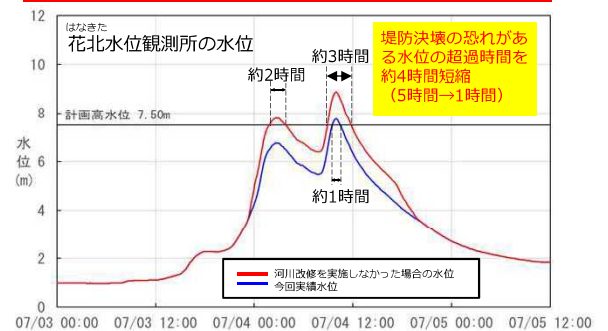
位置図



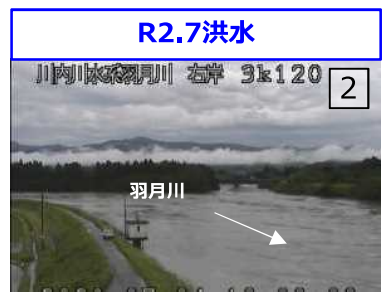
①約2.1mの水位低減により越水を回避



②危険な水位以上の継続時間を4時間短縮



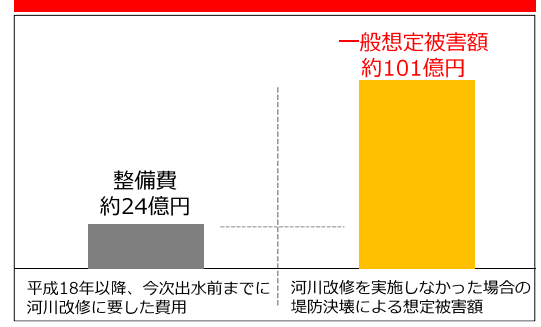
降雨量 266mm/12h (山野雨量観測所) (H18.7洪水) < 381mm/12h (R2.7洪水)



いっすい 溢水等により70戸が浸水

越水による浸水を回避

③約101億円の被害軽減効果



V 事業効果

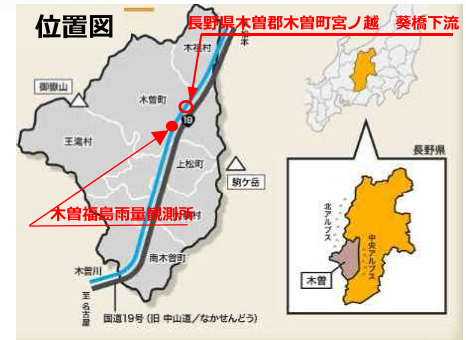
被害防止・軽減効果

治水事業の効果（木曽川水系木曽川）

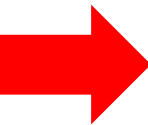
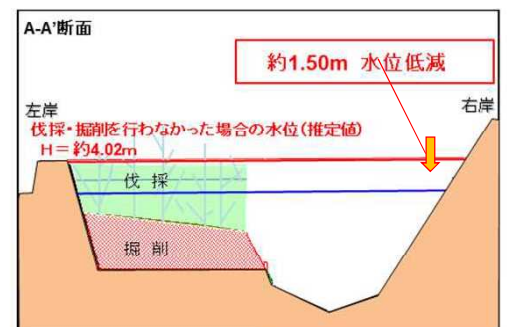
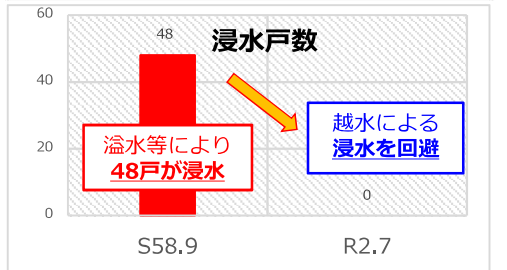
防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策等により浸水被害を回避しました。

▼ 効果の概要

- 木曽川水系木曽川（長野県管理区間）では昭和58年9月洪水により浸水面積約5ha、浸水戸数48戸の被害が発生した。平成30年度より、防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策による樹木伐採・掘削を実施しました。
- 令和2年7月豪雨では、木曽福島雨量観測所において昭和58年9月洪水を上回る雨量を観測したが、3か年緊急対策による河道掘削等（事業費約3億円）を実施していたことで、木曽町宮ノ越地区葵橋下流で約1.50mの水位低減により越水による浸水を回避しました。



約1.50mの水位低減により越水による浸水を回避



V 事業効果

被害防止・軽減効果

治水事業の効果（木曽川水系木曽川上流部ダム）

防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策等により浸水被害を回避しました。

効果の概要

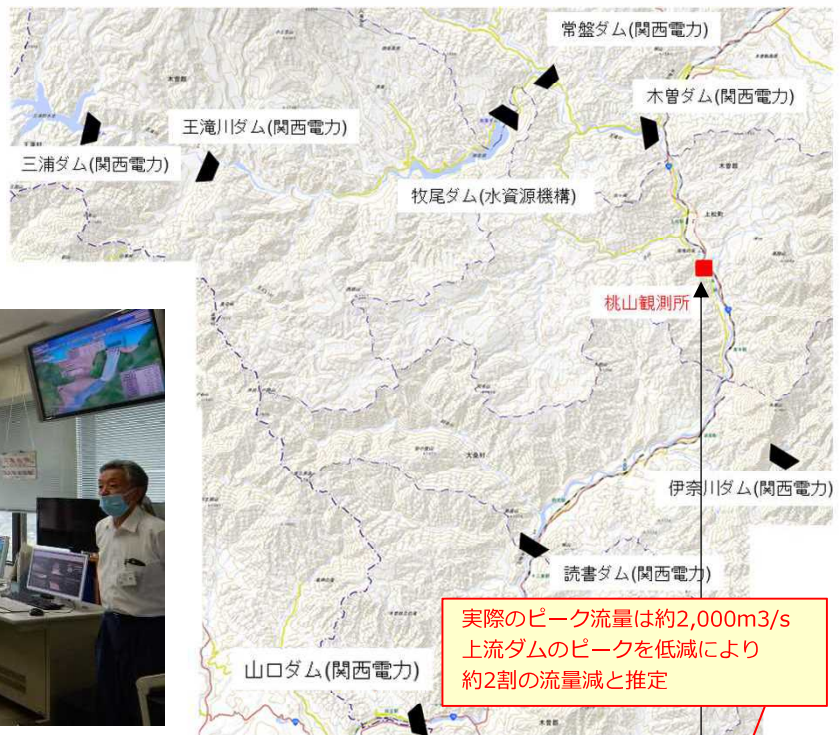
- 令和2年7月豪雨において木曽川水系木曽川上流部ダムが事前放流等で効果を発揮しました。
- 長野県内の木曽川では、牧尾ダム（水資源機構管理）で事前放流を行い、三浦ダム（関西電力管理）等と合わせて8つの利水ダムに約4,200万m³の容量を一時的に確保して、洪水を貯留しました。
- 桃山水位観測所（長野県上松町）地点において、上流の5ダムでの放流量抑制により、流量を2割ほど減らす効果があったと推定します。

川の氾濫抑制 ダムに感謝

上松、南木曽、大桑の3首長

木曽町、王滝村境の水資源機構・牧尾ダムでは、ダム操作の経緯について数値で説明を受け、大雨の中で緊張を強いられる日々を続けてきた職員に感謝した。「梅雨明けまでもう少し。頑張っていたきたい」と激励しました。

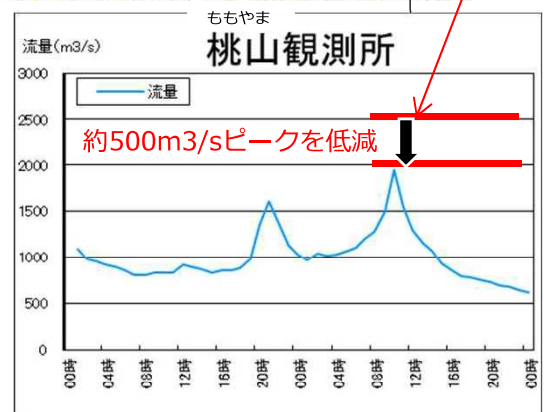
（市民タイムス 木曽 令和2年7月16日より一部抜粋）



実際のピーク流量は約2,000m³/s
上流ダムのピークを低減により
約2割の流量減と推定



牧尾ダム（水資源機構：農業・水道・工業用水道・発電）



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります

V 事業効果

被害防止・軽減効果

砂防事業の効果 (井口台4号砂防堰堤が土石流を捕捉し被害を防止 - 広島市西区井口台3丁目)

▼ 効果の概要

- 令和2年7月豪雨において広島県広島市西区井口台の砂防堰堤が土石流を捕捉し(約1,200m³)、下流の住宅街への被害を未然に防止しました。
- H11,H26,H30と土砂災害が相次いでおり、当該施設は直轄砂防事業によりH29年に完成しました。
- 土石流捕捉後、その後の土石流に備えるため、土砂を撤去しました。(7/13土砂撤去作業開始、8/24完了)



土石流発生前 (H29.3撮影)



土石流発生直後(R2.7.7撮影)



土砂撤去後(R2.8.20撮影)



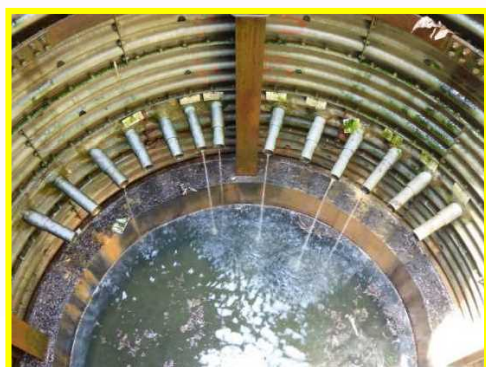
V 事業効果

被害防止・軽減効果

おおくら やなぎぶち

砂防事業の効果 (地すべり防止－山形県大蔵村柳淵区域)

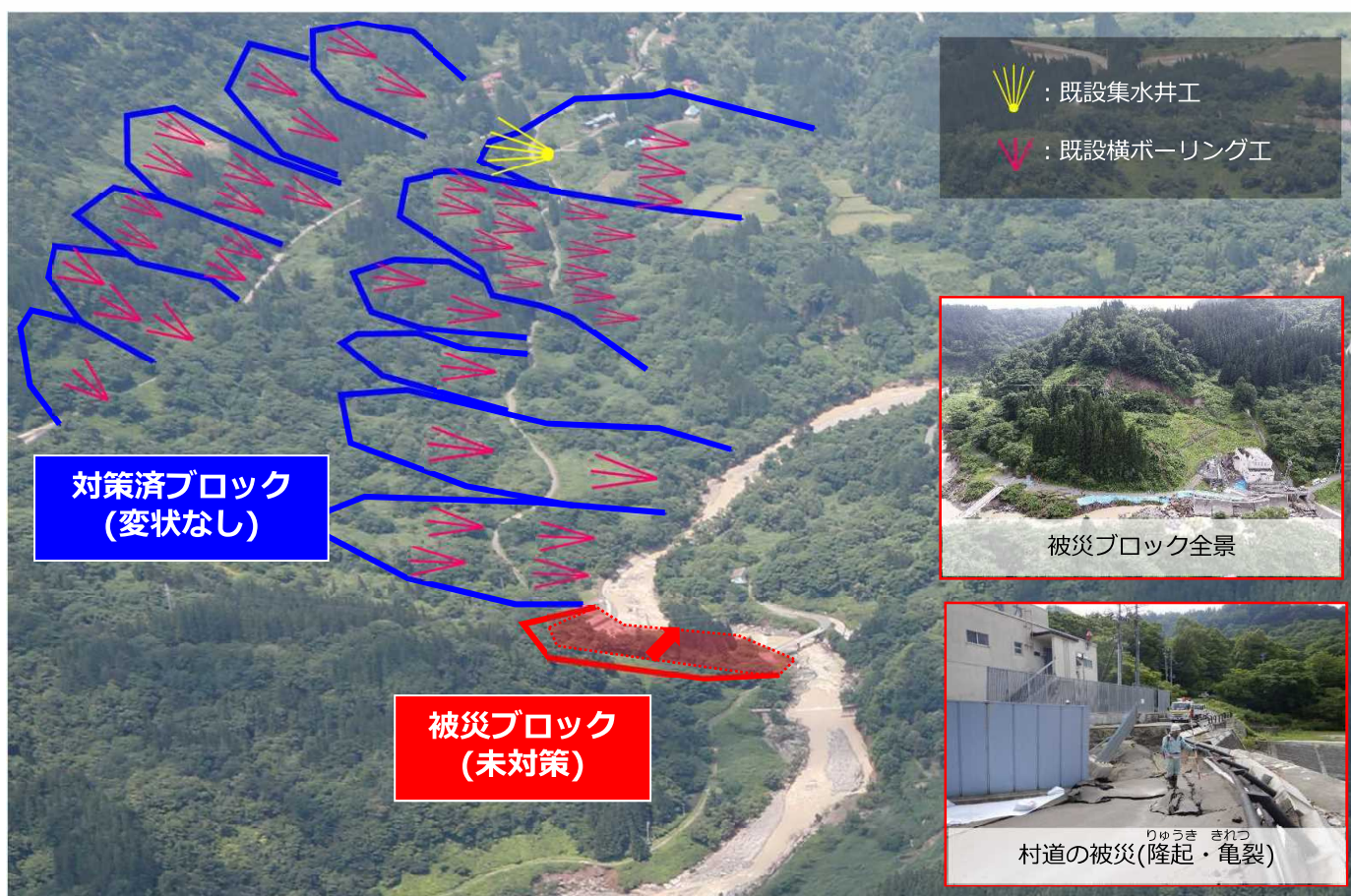
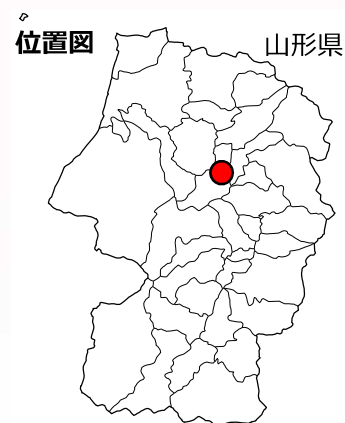
令和2年7月豪雨により地すべりが発生したものの、同地区内の対策済ブロックでは、地すべり防止施設の整備により地すべりの発生を未然に防止しました。



同地区内の既設集水井工



同地区内の既設横ボーリング工



発生日 : 令和2年7月28日
 降雨状況 : 連続雨量 219mm (7月24日22時～29日6時)
 時間最大雨量 33mm (7月28日13時～14時)

発生箇所 : 山形県最上郡大蔵村南山

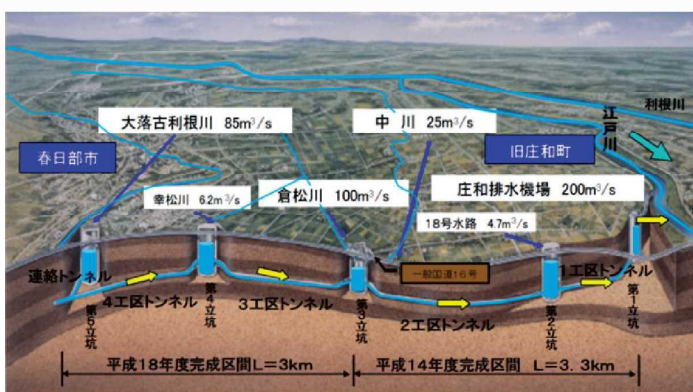
V 事業効果

経済効果

しゅとけんがいかくほうすいろ 首都圏外郭放水路

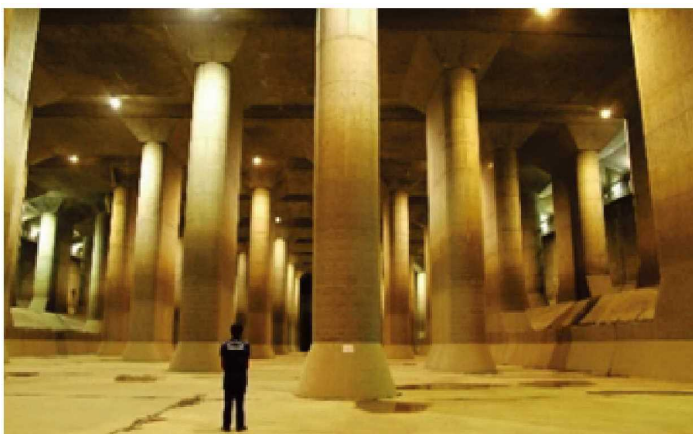
- ・ 中川・綾瀬川流域は、低平な地形で都市化が急速に進展し水害が発生しました。
- ・ 首都圏外郭放水路（平成14年部分通水、平成18年全区間通水開始）等の整備により、水害による浸水戸数が激減しました。（S50～59平均約7,000戸→H19～H28平均約950戸）
- ・ 春日部市では部分通水後の平成15年度から「産業指定区域」を指定し「水害に強い都市基盤」を積極的に広報。物流倉庫やショッピングセンターなど30件の企業が新たに進出するなど地域の発展に貢献しました。

かすかべ 首都圏外郭放水路の概況（埼玉県春日部市）

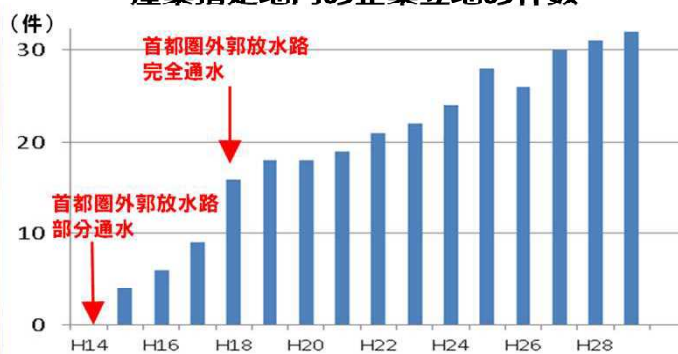


首都圏外郭放水路の洪水調節実績

順位	年月日	洪水名	洪水調節総量 (千m³)	流域平均48時間雨量 (mm)
1	平成27年09月09日	台風17号、18号	19,031	230.4
2	平成26年06月06日	低気圧	13,426	200.2
3	平成29年10月22日	台風21号	12,040	189.7
4	平成20年08月28日	低気圧	11,720	124.8
5	平成25年10月16日	台風26号	6,848	179.6
6	平成16年10月09日	台風22号	6,720	199.2
7	平成24年05年03日	低気圧	6,678	137.0
8	平成18年12年26日	低気圧	6,621	171.9
9	平成18年10年16日	前線降雨	5,104	134.8
10	平成23年07年19日	台風6号	4,907	120.4



産業指定地内の企業立地の件数



<流通関係企業の声>

外郭放水路が通っているため、水害の発生の危険性がないと考え災害にも強いまちであると実感しております。（春日部市HPより）

整備前（2000年）



整備後（2014年）



首都圏外郭放水路整備後に立地した物流倉庫、ショッピングセンター等 産業指定区域

V 事業効果

経済効果

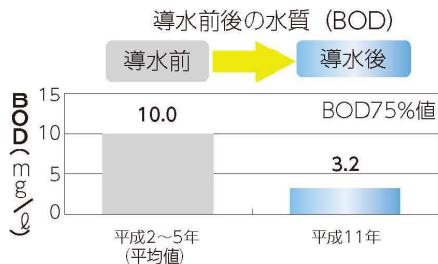
まつえほりかわ

松江堀川浄化事業（島根県）

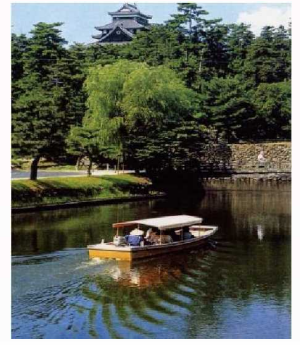
松江市の中心部を流れる堀川の浄化対策を国、県、市及び地域住民が連携し実施、平成9年には堀川遊覧船が就航しました。また、水辺を活かしたまちづくりを県と市が一体となり推進します。

事業の概要

松江堀川の水質改善を図るため、国により導水事業を実施するとともに、県及び市により浚渫を実施しました。

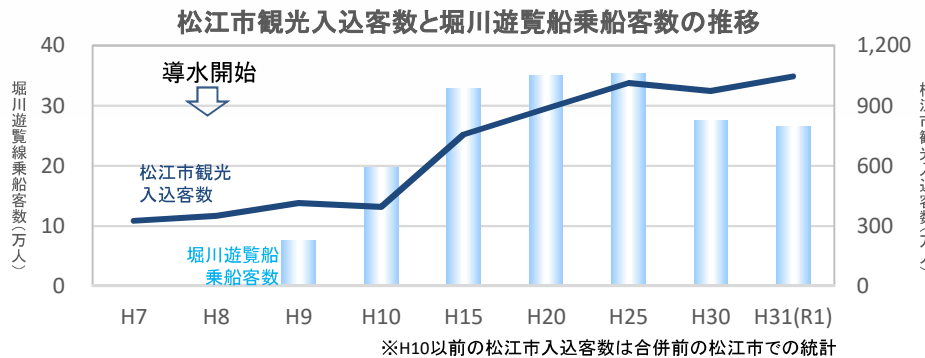


昭和40年代 水質汚濁が深刻な堀川



平成9年 遊覧船就航 (年間30万人が利用)

浄化導水のルートと遊覧船のコース



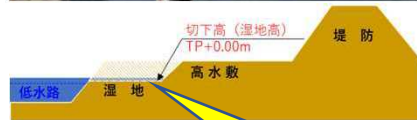
まるやま

円山川直轄河川改修事業（兵庫県）

かつてコウノトリが生息していた頃のような多様な生物の生息する生態系の回復を目指すことを目的に、豊岡市等の事業と連携して円山川の湿地環境再生と生態系ネットワーク再生に取り組んでいます。



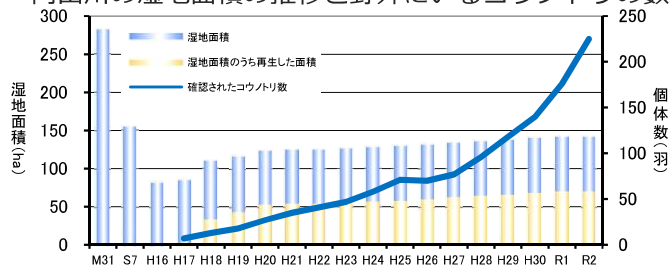
洪水に対応できる
よう河川敷の掘削



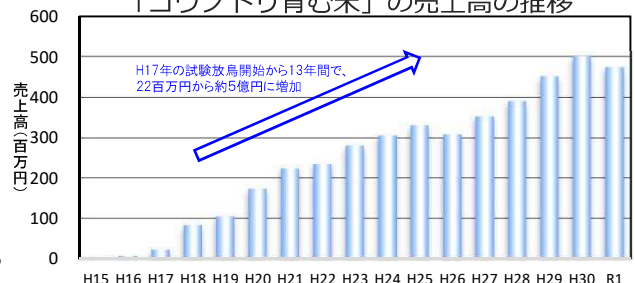
広く、浅く

- 河川改修では、河川敷を浅く広く切り取ることで、湿地を再生しました。
- 周辺の水田ではコウノトリの餌となる生き物を育む無農薬、減農薬農法を採用しました。その結果、訪れるコウノトリの増加に加え、ブランド米「コウノトリ育む米」など高付加価値により経済波及効果を発揮しました。

円山川の湿地面積の推移と野外にいるコウノトリの数



「コウノトリ育む米」の売上高の推移



V 事業効果

経済効果

しなの 信濃川（新潟県）

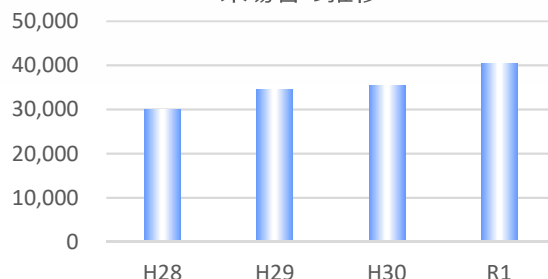
新潟市の信濃川やすらぎ堤では、管理用通路や高水敷の整備に合わせ、民間事業者による河川敷地での営利活動を可能にする都市・地域再生等利用区域を活用し、世界的なアウトドアメーカーが区域全体のマネジメントを担い、オープンカフェなどの商業活動等と一体となった水辺の賑わいを創出します。



ヨガやピラティス、SUPなど様々なイベントも開催



万代橋右岸上流アウトドアラウンジ
来場者の推移



もがみ 最上川（山形県）

長井市では、市街地を流れる最上川を活かしたまちづくりを展開しています。行政、住民、民間企業、河川管理者等が連携して、回遊ルート確保やイベントの開催等を行うことで水辺の賑わいが創出され、観光客を誘導し、地域の観光振興、地域の活性化が推進されます。



河川管理者の取組

- ・ 階段護岸の整備、低水護岸の整備、管理用通路の整備



地域の取組

- ・ 観光ボランティアと連携した案内
- ・ 観光協会等による催し物開催
- ・ 休憩施設や案内板の整備
- ・ NPOによるフットパスガイドマップの発行
- ・ 市民協力による商屋跡やトイレなどの開放



長井地区における河川利用者数の推移

